

わんにゃん通信

2019.11月号

あと2か月で1年が終わろうとしています。あっという間の1年でした！
そして唐津くんちも近づいてきてますね！今年はどんな屋台がでるかなあ…

今回は椎間板ヘルニアのお話です！

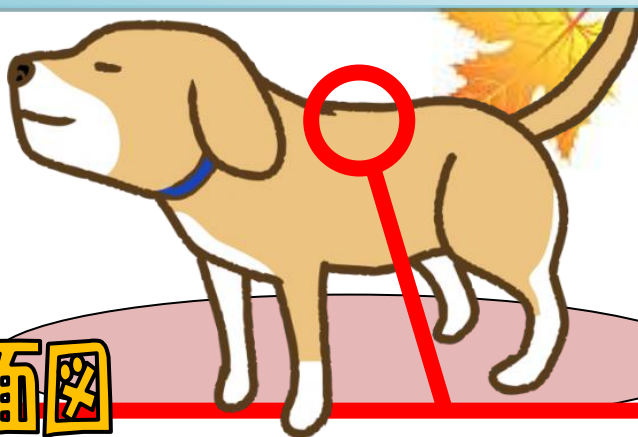


椎間板ヘルニアとは？

脊椎(背骨)の間にある椎間板が脊髄(神経)の通っている脊柱管の中に出てきて脊髄を圧迫することによって発症します。

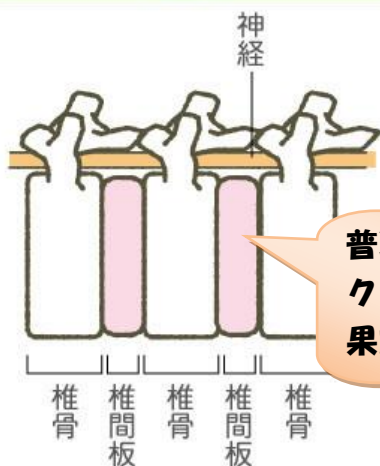
ヘルニアを起こしている部分や脊髄の圧迫している程度によって症状が異なります。

ダックス、**シーズー**、**ビーグル**、**ペキニーズ**などの犬種では発生頻度が高く、特に若齢期から急速に進行する事が多く、それ以外の犬種では加齢に伴い徐々に進行していくことが多いです。



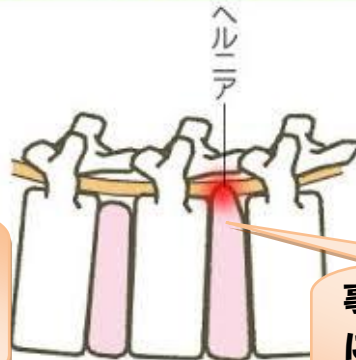
背骨の断面図

通常



普段は力を吸収するクッションの役割を果たしているよ

椎間板ヘルニア発症



事故や加齢によって背骨に加わった力を吸収できずに飛び出てしまうよ！

症状

- ▢背中を触る、抱っこをすると痛がる
- ▢四肢に少しの麻痺があり、よろけながら歩く
- ▢腰が立たず、前足の力だけで後ろ足を引きずって歩く
- ▢排泄のコントロールができない

重症度高

下にいくにつれて
重症度が上がるよ



治療

症状によって内科療法、外科手術と治療法が変わってきます

内科療法

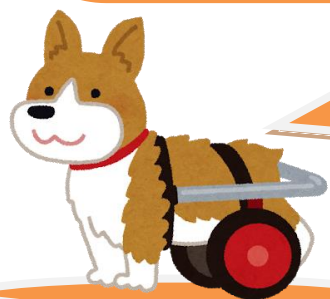


脊髄の圧迫が軽度であり、歩行可能な場合は
安静と鎮痛剤による内科療法を行います。
原因の治療ではないため、再発の可能性があります。

外科手術



脊髄の圧迫が重度であり、歩行不可能な場合は
脊髄造影検査をし、圧迫部位を特定したうえで
椎間板の除去手術を行います。
脊髄の損傷にもよりますが、**術後に歩行可能になるのは7~8割**とされています。



はじめは軽い症状でも短時間で重い症状になることがあります。
背骨の痛みや四肢の麻痺の症状がみられた場合は、安静にしてなるべく
早くご来院ください。

新しく療法食のおやつが登場しました！

ダイエット中に！

尿結石症治療中に！



アレルギー治療中に！

消化器疾患治療中に！

詳しくはスタッフまで！